

2024  
11  
November  
No. 381

# 広報みしま

Mishima Town Public Relations



## 壁画アートプロジェクト 三島小学校児童が壁画作成【宮下地区】

10月10日、三島小学校プールの壁画の修復が行われました。この取り組みは、宮下地区が三島町地区支援事業の活動として三島小学校や半澤政人先生の協力のもと実施しました。児童が地区住民との交流を通じて地域貢献活動を行い、地域への愛着と自主性を育むことを目的とするものです。

児童の皆さんは楽しみながら壁画の修復を行い、創造性豊かな壁画が完成しました。

福島県  
大沼郡  
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

# ふるさと運動50周年 ～振り返る三島町の歩み～

## ふるさと運動の発足と生活工芸運動

### 立ち上げに関わった 役場職員にインタビュー

前回に引き続き「ふるさと運動」に直接関わっていた方にインタビューを行い、当時の「ふるさと運動」について振り返っていきます。今回インタビューを行うのは当時、役場職員として「ふるさと運動」の中核を創り上げ、生活工芸館初代館長の福田耕士さんです。今回は元役場職員ということもあり、行政側からの視点にご注目ください。



福田耕士さん(大谷)

### Q. 立ち上げ当時の担当課について

今から50年前、昭和49年だったかな。齋藤茂樹元町長が企画室長で私が企画係長で、当時観光協会の海老名健ちゃんと他職員2人の計5人が企画室のメンバーだった。

### Q. 『ふるさとの家』立ち上げについて

突然、佐藤長雄町長から呼ばれ、室長と一緒に町長室に行った。長雄町長が「都会の人から年会費もらって、その代わりに三島に来てもらっているいろいろ楽しんでもらう、っていうことを展開したいから企画検討してまとめろ。」と言われた。当時から長雄町長は頭が切れて相談するとすぐ理解してくる反面、間違ったことを言うと「ばかやろう、辞表もってこい」なんて言われてた。だけど、面倒見も良くて大きな問題が起きても、怒らず適切に対処してくれて、温かい気持ちを持ってる方だった。

役場で検討することになって特別町民制度の中身を考えるようになった。特典は、広報誌や餅を送るのと「ふるさとの家」の紹介、三島に来町されたときは一般町民と同じ料金で公共施設を利用できるっていう内容だった。

都会の人に三島に来て泊まってもらって、農家が潤うようにすることが長雄町長の考える一番の目標だから、農家に泊まる民泊をすることになり「ふるさとの家」をやることになった。町民の皆さんにも特別町民制度に協力してもらったために毎晩集落座談会をしたんだ。

民泊を受け入れる町民の方はもてな

しに不安があったから当時民泊を行っていた山形県の小井沢集落に研修に行った。あとは、毎日同じ料理出すわけにいかないから、県の農業改良普及所をお願いして郷土料理のレシピ本を一冊作ってもらったんだ。そんな時役場に知人の工藤忠俊先生から電話がかかってきた。工藤さんは東京で会社を営んでいる方で今でも関わりがあるんだけど、「東京にいる子どもが人間本来の生活を経験していない。だから三島に連れてきて豊かな自然に触れさせたい」って内容だった。最高のタイミングだと思って、サマースクールとして30人くらい子どもを連れてきてもらって民泊で面倒見てもらったんだ。この経験で民泊に協力してくれた方も自信がついて「ふるさとの家」が完成したんだ。



▲レシピ本として作成されたお料理カード

Q. 生活工芸館の立ち上げについて

教育委員会にいたるときに長雄町長から呼び出されて、「生活工芸館さ行け」と言われて、行くのはいいけどいったい何すればいいんだって聞き返したら、「それはにしゃが考えるんだ」って。工芸館に本当に一人で配属になってどうやって運営すればいいか、前例も目標もない中で何していいかわからなかったけど、木工機械室設けて、デザイナーとして千葉大の宮崎清先生の教え子の西牧研二君が入ってきて編み組細工のデザイナー考えたり、あと掃除とか色々やってくれる女性スタッフの計3名で工芸館が始まったんだ。



▲昭和61年生活工芸館落成式のテープカット

Q. 生活工芸運動について

12月になると町長予算査定があるから何か計画しないといけないからいろいろ考えたんだ。一つ目は作品コンペ。大学生と一般の人で区切って課題を与えて作品を提出してもらおう。そこからものづくりのアイデアにつながればいいと思ったんだ。二つ目はふるさと会津工人まつり。西牧君が毎週木曜日に研修で若松に行っていたんだ。だから、若松のものづくりしている人を紹介してもらって集めた28店で工人まつりの始まりだったんだ。名称に会津って入ってるのは、最初は若松とか会津の人達だけしか想定してなかったから。最初はチラシも手作りだったし来る人も少なかったけど、3年目くらいから少しずつお客さんが増えてきて今では三島町最大のイベントになったよな。

俺は事業とか企画の立ち上げに多く携わってきたけど、先入観を持たないことが重要だと思う。先入観を持つちゃうと何事もできないことだらけになっちゃう。できないじゃなくてできるようにするためにはどうするか…、って考えることが現場職員の仕事だと思う。そういうこともあって退職まで俺はおもしろかったな。

Q. 福田さんが思う三島町の魅力とは

人間が温かい、空気もきれいな、水もおいしい自然がいっぱいなのかな。山さ行けば小鳥が飛んでる、山菜も四季折々でいろんなものが生えてる。他では体験できないことが多い。都会の人はこういうことに魅力を感じてうんと喜んでくれると思う。今から民泊は難しいかもしれないが、稲刈り体験やそば打ち体験のツアーとかは、一時的でもいいからはじめるといいと思う。三島はまだまだ魅力がいっぱい残っているからまた活用して盛り上げてほしい。

第一回もさく大まつり  
作り手から使う人へ

生活工芸館の催し会場には、会津の工人の作品でいっぱい、そして人も。

生活工芸館内で行なわれた尺八コンサート

▲昭和62年7月号三島町町政だより抜粋



▲テレサ・テンさん記念植樹時の集合写真

# スターウォッチングツアー 2024 ～ミサカノヨゾラ～



9月28日に美坂高原において「スターウォッチングツアー2024～ミサカノヨゾラ～」が開催されました。会場には約450人の方が来場され、前年よりも多くの方で盛り上がりました。今回も美坂高原マルシェや手仕事マルシェK.I.S.S.E.が開かれ、町内外の美味しい食べ物や、手作りの木工品などのお店が並びました。

また国立天文台監修のビクセン社製の望遠鏡をつくるワークショップや生活工芸館による木工体験などが行われ、好評を博しました。

## 美坂高原大運動会



▲桐下駄飛ばし



▲チキンレース

午後1時、美坂高原の草原エリアで美坂高原大運動会が行われ、鶏の着ぐるみを来て走る「チキンレース」や桐の下駄を遠くまで飛ばす「桐下駄飛ばし」が行われ、多くの方に参加いただきました。

一両種目とも見た目以上に難しく、熱戦が繰り広げられ、会場には応援の聲が響き渡り大いに盛り上がりました。

## 望遠鏡づくりワークショップ



▲講師の清水先生



▲完成した望遠鏡を試す参加者

午後2時、美坂高原管理棟前で望遠鏡をつくるワークショップが行われました。講師は天体鑑賞愛好家の清水健司先生が務め、望遠鏡に関する説明と組み立てを行いました。

## ミサカノヨゾラ

### フォトコンテスト表彰式



▲審査委員の猪俣慎吾先生



▲丹治 美知夫さん「真夏の夜の美坂高原」(最優秀賞)

午後3時、ミサカノヨゾラフォトコンテストの審査発表と表彰式が行われました。最優秀賞は福島市在住の丹治 美知夫さんの作品「真夏の夜の美坂高原」でした。

## 星景写真撮影講習会

午後4時、キャンプフォトグラフィアー猪俣慎吾先生を講師に、星景写真撮影講習会の基礎講習が行われました。基礎講習では、星景写真の撮影のポイントについての講義とプラネタリウムテント内で写真の鑑賞会が行われました。想定よりも多くの方に参加いただき、猪俣先生も「星景写真に興味を持っている方がこんなにいるとは思わなかった。」と驚いていました。



## 山浦雅也スターライトコンサート

午後6時、会津美里町出身のサクソフォンプレイヤー山浦雅也さんと会津サクソフォンプロジェクトの方々による「スターライトコンサート」が開催されました。コンサートでは、アンサンブルと山浦さんのソロ演奏が行われ、サクソフォンならではの力強い低音や柔らかな音色で会場にいる方を魅了しました。壮大なサクソフォンアンサンブルの美しい音色が夜の美坂高原に響き渡り、来場者の方々から大きな拍手が送られました。



▲山浦雅也さん（写真中央）

## 渡部潤一先生による講演会と星空観望会

午後7時から、自然科学研究機構国立天文台 上席教授渡部潤一先生による講演会が行われ、彗星や天体に関してユーモアも交えてお話いただき、来場された方は皆さん熱心に耳を傾けていました。

特に彗星に関するお話では次は何年後に見ることができるとか、彗星はどんな物質で構成されているのかなど詳しく説明いただきました。

質疑応答では、来場者からの多くの質問や疑問に丁寧に回答いただき、講演会は終始にぎわっていました。



午後8時より、星空観望会が行われました。観望会では星が見えるか心配されていたが、何とか晴れて星空を見ることができました。肉眼での観望だけでなく、望遠鏡とカメラを用いたテレビ観望も行われました。

観望会中には流れ星も見ることができ、渡部潤一先生の説明を聞きながら参加者は美坂高原の星空に見入っていました。

今回のスターウォッチングツアーでは来場者だけでなくキャンプ利用の方が30組以上となり過去最高となりました。今後、美坂高原でのイベント時以外でのキャンプ利用も検討しています。



※テレビ観望とは…従来の望遠鏡を用いた天体観測とは異なり、望遠鏡にカメラを取り付け眼ではなくカメラに映った映像を観察する観望方法。

### 国立環境研究所福島拠点

8月24日、三島町公民館主催の親子教室として「コミュニケーション福島」の見学バスツアーが行われ15名の方が参加しました。

ツアーでは、コミュニケーション福島内にある「国立環境研究所福島拠点」を特別に案内していただき、実際に研究を行っている研究員の方に実験や解説を行っていただきました。

また、放射性物質の吸着に関する実験や昆虫の生態に関する解説、プロジェクションマッピングを活用した立体地図など、参加者の皆さんは興味津々で話を聞いていました。



①



②



③



④



⑤



⑥

### 水の中で物質を混ぜてくっつける吸着実験

写真①②は廃棄物・資源循環研究室の田中特別研究員によって行われた吸着実験の様子です。福島第一原子力発電所の事故後の除染によって出た放射性セシウムを含む大量の除染廃棄物を少なく（減容化）する研究などを行っています。

この実験により除染廃棄物の量を当初の灰から約数万分の1前後にまで減らすことができます。参加者の皆さんからは驚きの声や質問、意見が上がり知識を深めました。

### 立体地図に福島県のデータを映す3Dふくしま

写真③④は地域環境創生研究室に展示してある「3Dふくしま」を見学した様子です。

「3Dふくしま」は福島県の立体白地図に様々なデータを映し出す装置です。地球温暖化により、農作物にどのような影響があるのか視覚的に映したり、クマやイノシシの出没箇所を映し出す様な共通点があるかなど様々な解説をいただきました。「3Dふくしま」は三島町文化祭でも展示されますので、ぜひ足を運んでみてください。

### 研究者が使う顕微鏡で見る昆虫観察

写真⑤⑥は環境影響評価室のチヨウ・チエイツク高度技能専門員が昆虫の生態について説明している様子です。

電子顕微鏡を使ってオナガシジミを観察しながら、蝶の翅の構造について解説いただきました。また、教室にはたくさん昆虫標本が展示され、カラフルな昆虫や「コミュニケーション福島」の周りで採取された昆虫が並び、たくさん質問が上がっていました。

### マッピングふくしま



原子力災害による自然環境への影響や地球温暖化などの環境問題に関し、見た人が直感的に理解できるようにプロジェクションマッピングにより可視化しています。

### 未来創造インフォストリーム



デジタルサイネージによりふくしまの復興や環境の未来について、最前線で活躍する人たちや研究者などを紹介しています。

### 事故後の福島第一原子力発電所



福島第一原子力発電所1～4号機とその周辺の事故直後の様子を、事故調査報告書などをもとに模型で再現しています。(1/350 スケール)

### 福島県環境創造センター

実験と解説の次は、コミュタン福島内にある「福島県環境創造センター」の見学を行いました。

施設内には福島第一原子力発電所事故当時の様子を再現したジオラマ、放射線を見ることのできる霧箱など様々な展示があります。

特に人気が高かった展示は「エネルギークリエーター」という再生可能エネルギーをテーマにした、砂遊びとプロジェクトジョンマッピングが融合した設備です。多くの参加者が砂を夢中で動かしエネルギーについて理解を深めました。

### 放射線測定マップ



福島県内空間線量をリアルタイムで検索・表示することができます。

事故直後や国内外の空間線量と比較してみてください。

### エネルギークリエーター



不思議な砂場で、山や谷や平地など形をつかって、地形と自然の力を生かした再生可能エネルギーを生み出そう！

## 三島町 交通事故死者ゼロ 5500 日達成！

当町は9月20日で交通事故死者ゼロ5500日を達成し、本田伸雄会津地方交通対策協議会長（会津地方振興局長）から表彰されました。

当町では平成21年8月29日以来、交通死亡事故が発生しておらず、5500日は会津地方の17市町村では最も長い記録となっています。矢澤町長は「人の命を守る視点から表彰はありがたい。死亡事故ゼロの記録を今後も続けていきたい」と話しました。

町は今後も交通安全を町民の皆さんに呼びかけ、交通事故防止に努めていきます。



▲左から矢澤町長、本田会津地方交通対策協議会長

## 教育委員に西恭平さんを任命

教育委員に西恭平さんが議会の同意を得て任命され、このたび矢澤町長より任命書が交付されました。任期は、令和6年10月1日から4年間です。

教育委員会は、教育長と4人の委員によって構成され、月に1回の定例会のほか、必要な場合は臨時会を開催しています。学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づき教育長が具体的に事務を執行します。



▲左から矢澤町長、西恭平さん、山口教育長

## 「星空を眺めてみよう」

### 渡部潤一先生による星空教室開催

9月27日、国立天文台上席教授の渡部潤一先生による星空教室が町民センター大ホールで開催され、三島小・中学生や町民の方を前に、「星空を眺めてみよう」をテーマに講演されました。星座早見盤が配られ、分かりやすく説明いただき、大人から子供まで興味津々、質問タイムでは多くの小・中学生が手を挙げ質問し、関心の高さがうかがえました。講演の後、感謝の気持ちを込め三島中特設合唱部から「銀河鉄道999」の合唱披露や小学1・2年生の手作りのペンダントとマントが渡部潤一先生にプレゼントされました。



▲プレゼントを受け取る渡部潤一先生

## 三島町消防団秋季検閲式

三島町消防団の秋季検閲式が10月20日、三島中校庭で行われました。検閲式は消防団員が訓練の成果を披露し、点検を行う大切な行事です。点検者である福島県消防協会会津坂下支部長（湯川村消防団長白岩雅美）に、消防団が団員の品位及び規律を確認する通常点検・小隊訓練を受けました。

三島町消防団員は、いざという時に迅速に対応できるように、常に万全の体制を整えています。



▲検閲の様子

ご寄附ありがとうございます

明治安田生命保険相互  
会社から町へ寄附金

明治安田生命保険相互  
会社坂下営業所から町へ  
多額の寄附金が贈呈され  
ました。

9月27日に月田誉所長  
と鈴木礼さんが町長室を  
訪れ、矢澤町長に目録を  
手渡しました。



▶ 左から矢澤町長、明治安田  
生命保険相互会社坂下月田誉  
営業所長、鈴木礼さん



町民記者通信

駒形神社 列大祭 (9月15日)

佐久間 絹江さん (滝原)

10時より地区の方々が神前に集合、秋の収穫物を待ち寄り、拝礼後に飲食を共に楽しみました。例大祭前にはお宮掃除を行い境内を掃き清め、併せて神社前広場の除草も行いました。

神前でのお会食後、11時より広場で恒例のグラウンドゴルフで親睦を深めました。日頃の腕前を披露し、ホールインワンもとび出し、笑顔溢れる秋祭りとなりました。例年バーベキューや鍋で盛大に飲食を楽しむ秋祭りですが、今年は軽食程度にして会話を楽しみ、お弁当を持ち帰り、終了となりました。

29日はボランティアこぶしの会主催による研修旅行を行いました。今回は福島市出身の古関裕而記念館を訪れ、数々の名曲に触れ、改めて音楽の素晴らしさを感じてきました。



東北芸術工科大学学生による早戸温泉遊歩道整備を実施 (9月12～16日) 橋本 光五郎さん (早戸)

9月12日から16日の4泊5日で、東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科の学生による「早戸地区環境整備実習」が実施されました。

昨年度に続き、早戸温泉遊歩道に今年度は3台のウッドデッキを整備しました。これで、遊歩道にはそれぞれ特徴のあるウッドデッキが5台整備され、遊歩道を散策する楽しみが増えました。また将来、遊歩道と結ぶことも考えて、旧盛川屋さんの国道側から降りる道については、石積みによる整備を行いました。

参加学生も昨年度より7名増え22名の参加があり、また、連休を利用して5名の卒業生も参加してくださり、指導の教員等4名を含め、久しぶりに30名を超える参加者になりました。徐々にコロナ禍前の「賑わい」に戻ってきているところが、地区住民としては大変うれしいところです。

是非、三島町の皆様も整備が進んできた遊歩道を歩いてみてください。

なお、この活動は東北芸術工科大学、佐久間建設工業、早戸地区の協働で行われているもので、地区としては「早戸地区の景観・環境整備事業」として、三島町の「地区支援事業補助金」の支援を受けて実施しています。



**小学校の第2期プール壁画プロジェクト行われる (10月10日)**

小島 純さん (宮下)

宮下地区と小学生の共同事業としての三島小学校プール壁画プロジェクト（再生事業）に全校生徒が交代で取り組みました。1・2年生からはじまり3・4年、5・6年生の順に作業に入りました。

思い思いに原画をクリアファイルに挟みカッターで切り取り、壁に押し当ててペンキを塗っていました。生徒たちはペンキまみれになりながら楽しく作業をし、壁画は明るくきれいに完成しました。

閉会式では志田義美宮下区長から感謝の気持ちとして生徒の代表に図書券が贈られました。


**みんなで脱穀おいしくなあれ (10月16日)**

小島 純さん (宮下)

宮下地区のびおたん交流事業「田んぼの学校」では、びおたんクラブ役員、宮下地区委員、町づくり応援隊の協力を得て米の脱穀作業を行いました。

「田んぼの学校」最後の取り組み作業で、3～6年生児童26名が栗城隆彦さんから脱穀機械の操作説明を受けた後作業に入りました。脱穀が終わった後生徒からは、「初めは難しくて大変だったけど慣れると楽しく作業できた」、「去年よりはうまくできたと思う」、「初めてだったけど楽しくできた」、「お米になるまで大変なんだということがわかった」などの感想が上がりました。

収穫された米は来月のおばあちゃんの味で使用され、ふるまわれる予定です。


**応援団の皆さんとそばの脱穀作業 (10月18日)**

小島 純さん (宮下)

宮下そばと豆腐の会（佐久間宗一会長）では10月18日午前8時30分から宮下活性化センター広場でそばの脱穀作業を「そばの花でいっぱい!の景観づくり運動」応援団の皆さんの協力で行いました。

そばの作付け畑の減少により昨年よりは収穫量が少ない状況の中、皆さん一生懸命作業に汗を流しました。午前中には作業は終了。昼食には「からんころん」で参加した皆さんに手打ちそばがふるまわれました。収穫祭は11月25日に行われる予定です。



# 町職員の給与と 定員管理の状況を お知らせします

町職員の給与は、民間給与の調査に基づく人事院勧告を基本に、県や他の公共団体との均衡などを考慮し、条例で定められています。令和6年4月1日現在の地方公務員給与実態調査および地方公共団体定員管理調査を基に、町職員の給与と定員管理の状況を公表します。  
 総務課 財政係 ☎(48) 5511

## ◆部門別職員数の状況（令和6年4月1日現在）

部 門	職 員 数	前年度からの増減	
一般行政部門	議 会	1	0
	総 務	15	-1
	税 務	2	0
	民 生	8	+2
	衛 生	3	0
	農 林 水 産	4	+1
	商 工	3	0
	土 木	3	0
特別行政部門	小 計	39	+2
	教 育	5	0
公 営 企 業 等 会 計 部 門	水 道	1	0
	国 保	1	0
	そ の 他	1	0
	小 計	3	0
合 計	47	+2	

③職員数は一般職に属する人数であり、町長、副町長、教育長、会計年度任用職員は除いています。

## ◆人件費の状況（令和5年度普通会計決算）

住民基本台帳人口（令和6年4月1日現在）1,369人

歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B / A)
29億446万円	1億916万円	4億2,796万円	14.7%

③人件費には非常勤の特別職に支給する給料や報酬も含まれます。

## ◆職員給与費の状況（令和5年度普通会計決算）

職員数 (A)	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	1人当たりの給与費 (B / A)
42	1億5,282万円	3,125万円	6,066万円	2億4,473万円	583万円

③職員数は令和5年4月1日現在。職員手当には退職手当を含まない。

## ◆職員の平均年齢、平均給料・給与の月額

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	39.8歳	30万847円	38万1,874円

③令和6年4月1日現在の給与=給料+諸手当

## ◆令和6年4月1日現在の初任給

学 歴	大 学 卒	短 大 卒	高 校 卒
初任給	20万500円	18万2,400円	16万9,900円

## ◆令和6年5月1日現在の特別職の報酬等

区 分	役 職	月 額	期末手当（令和5年度支給割合）		
			6月期	12月期	計
給 料	町 長	69万4,000円	1.4月分	1.5月分	2.9月分
	副町長	55万9,000円			
	教育長	52万7,000円			
報 酬	議 長	25万1,000円	1.4月分	1.5月分	2.9月分
	副議長	20万5,000円			
	議 員	18万5,000円			

## ◆職員手当の状況

（令和5年度支給割合）

	6月期	12月期	計
期末手当	1.2月分	1.25月分	2.45月分
勤勉手当	0.975月分	1.025月分	2月分

（令和5年度決算）

その他の手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	時間外手当	寒冷地手当
1人当たりの平均支給年額	21万5,300円	32万2,500円	15万3,100円	37万8,200円	6万2,400円

（令和6年4月1日現在）

	勤続年数	自己都合	勸奨・定年
退職手当	勤続20年	19.6695月分	24.5868月分
	勤続25年	28.0395月分	33.2707月分
	勤続35年	39.7575月分	47.709月分
	最高限度額	47.709月分	47.709月分

## 地域おこし協力隊

### 活動誌

あつという間に冬が近づき

西田 星弥

地域おこし協力隊の西田です。夏も終わり、秋がやってきました。今年も秋も気候的にはあつという間に終わってしまっています。

昨今の気候を考慮すると「秋」を感じるためには、やはり「食」ではないでしょうか。

今年度分のふるさと納税も一通り完了し、だいたいの返礼品がすでに到着して存分に堪能している最中です。

これぞまさに「食欲の秋」

話は変わりますが、以前より現状をお伝えしていたECサイトの立ち上げについての進捗をお伝えしたいと思います。

ECサイトに関して、9月中旬に無事公開が完了し、運用が開始となりました。公開されて間もなく、宣伝方法にも制限があるので売り上げを作ることが非

常に難易度の高い状況ですが、任期まで善処したいと思えます。またこの記事が掲載されるタイミングではすでに完売の可能性が高いですが、桐の里産業で生産している米は例年通り、町民向け販売を行うようです。購入された方がいらっしやればぜひ味の感想等教えてください。

ちなみに私はコシヒカリを購入しました。スーパーに並んでいるものと比べ、生産者を知っていることも相まって、よりおいしく感じてしまいますね。季節の変わり目で体調を崩されないようお気を付けてください。



ECサイト QRコード

## 第11回ものづくり再光展 -30店の作り手さんに出店いただきました-



外会場の様子

10月12・13日㊤㊦第20回会津の編み組工芸品展と合わせて第11回ものづくり再光展」を生活工芸館にて開催しました。

町内の編み組品以外の工人さんの作品発表や販売の機会としてスタートしたイベントですが、近年は町外からも出展を募り、群馬県や新潟県、埼玉や岩手県などからも出展をいただきました。木工、染織、陶芸、漆器、ガラス、照明、切り絵など前回の倍以上となる全30店の皆様にご出展いただき、普段の工芸館では見られないジャンルの魅力的な工芸品が並びました。イベントのテーマとして体験や実演を推奨しており、銅のカップを槌で打つ音やバーナーでガラス細工を作る姿が見られ、訪れたお客様は自分の手で体験したり、工人さんの華麗な手つきに見入ったりしていました。



▲ガラスのペン



▲革の財布



▲樹脂粘土の人形

工芸館だより ㊤ 〽ものづくりの伝承〽

㊤三島町生活工芸館 ☎(48) 5502

# インフルエンザとコロナ！ 違いと予防方法が知りたい！

vol.96



町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

## 1 原因となるウイルス

インフルエンザはインフルエンザウイルス、コロナは SARS-Cov-2 による呼吸器感染症です。

## 2 症状

「発熱、寒気、咳、息切れ、倦怠感、咽頭痛、鼻汁、筋肉痛、頭痛、嘔吐、下痢、嗅覚・味覚障害」はどちらの感染症でも起こりえます。似ているため鑑別することがとても難しいので、症状が出た場合の抗原検査は、両方同時に行うことが多いです。

## 3 療養期間と感染性

インフルエンザは1～4日間で改善するのに対して、コロナは2～5日間程度、最大で14日間程度は急性の症状が持続することがあります。他人に感染させる時期は、インフルエンザでは原則として症状が出た当日からですが、コロナでは症状が出る1～2日前くらいから感染力を持ちます。無症状なのに人に感染させるという性質はコロナの厄介な特徴です。

## 4 感染予防の5つの基本

インフルエンザもコロナも予防方法は同じです。

きちんと対策して流行の時期を乗り越えましょう！

**1** 体調不安や症状があるときは無理せず自宅療養を受診する

**2** その場に応じたマスクの着用や咳エチケットの実施

**3** 換気、密集・密接・密閉（3密）回避を奨励

**4** 手洗いを日常の生活習慣に取り入れる

**5** 適度な運動、食事などの健やかな生活習慣を



予防接種も有効です！

※予防接種料金の助成については、ホームページ、またはお知らせ版をご覧ください。

## 図書のご案内

### 町民センターゆめぽけっと

- 利用時間
    - 月～金 午前9時～午後9時
    - 土(日)祝 午前9時～午後5時
  - お休み
    - 年末年始
- ☎ 公民館 ☎ (48) 5599

### ●今月のおすすめ

#### くまとやまねこ

湯本 香樹実 著



クマは仲良しだった小鳥が死んでしまい、小さな箱に入れていつも持ち歩く。クマは引きこもってしまうが天気につられて外へ出ます。その日、ヤマネコと出会い、ヤマネコはクマに説教めいたことは言わずに、クマに寄り添い、音楽を通して慰めを与えます。クマは小鳥との過ごした日々を思い出します…

### ●図書の紹介



成瀬は信じた道を行く

宮島 未奈 著



木曜日にはココアを

青山 美智子 著



もうじきたべられるぼく

はせがわゆうじ 著



## 環境創造センター見学バスツアー

三島町のみなさま、こんにちは。前のページでも紹介していますが、8月24日に三島町の子供たちが福島拠点のある環境創造センターに見学に行ってきました。

福島拠点には廃棄物・資源循環研究室、環境影響評価室、地域環境創生研究室という3つの研究室があり、それぞれの研究室から研究内容に関連する展示を行いました。

### ■水の中で物質を混ぜて作ってくっつける吸着実験 ※写真①②

廃棄物・資源循環研究室では、福島第一原子力発電所の事故後の除染によって出た放射性セシウムを含む大量の除染廃棄物を少なく（減容化）する研究などを行っています。まず、燃やすことのできる廃棄物は燃やして灰にした後、添加物を加えて加熱処理をしてさらに少なくします。その時に残る溶融飛灰に放射性セシウムは集まり、水に溶けやすい性質を持ちます。水に溶かした放射性セシウムを吸着しやすい物質を水の中で混ぜ合わせて作って、その物質に放射性セシウムを吸着させると、その方法によって除染廃棄物の量を当初の灰から1/数千から約1/1500数万前後にまで減らすことができます（除染廃棄物の減容化の一例について詳しくは以下URLのサイトをご覧ください）

○「放射性セシウムに汚染された可燃性廃棄物はどの程度まで小さくできるのか？」<https://www.nies.go.jp/fukushima/magazine/genba/202401.html>

○令和6年度環境創造センター成果報告会ポスター発表田中悠平、山田一夫、遠藤和人、特定廃棄物（飛灰）の最大減容化に向けた二段階化学共沈法  
<https://www.fukushima-kankyoso.jp/2024seikahoukoku/Templates/PDF/2024/page2/06.pdf>

このように物質が他の物質に吸着する様子を再現した、「水の色が変わる吸着実験」を、<sup>たなかゆうへい</sup>田中悠平）特別研究員がみんなの前で披露してくれました。

### ■立体地図に福島県のデータを映す3Dふくしま ※写真③④

地域環境創生研究室では災害からの持続可能な復興まちづくりなどの研究を行っています。ここでは福島県の立体白地図に様々なデータを映し出す「3Dふくしま」の展示を中村省吾（なかむら しょうご）主任研究員が行いました。東日本大震災の災害前と災害後の人口の様子、気候変動の影響で温暖化がこのまま進みつづけたら農作物はどうなるのかという将来予測、福島県内で熊やイノシシがどんなところに出没するのかといったデータを映しながら、福島県の環境と地形との関わりを学びました。

### ■研究者が使う顕微鏡で見る昆虫観察 ※写真⑤⑥

環境影響評価室では放射線による生き物への影響についての研究などを行っています。今回は昆虫等の生態の専門に研究をしているJO Jaeick（ちょう ちえい）高度技能専門員がたくさん昆虫標本を持ってきてくれました。さらに、研究者が使っている電子顕微鏡を使って、三島町でも見られる蝶であるキマダラルリツバメと同じシジミチョウ科に属するオナガシジミを観察しながら、蝶の翅の構造によって光が屈折して様々な色に見えるしくみを解説してくれました。

最後にみんなで環境創造センター交流棟「コミュタン福島」に向かい、放射線や再生可能エネルギー、生態系についてなど、展示や体験を通じて環境のことを楽しみながら学びました。 ※写真④

三島町のみなさんに我々の研究内容を知ってもらう機会はなかなかありませんので、今回三島町の子どもたちをお迎えして研究者の取り組みを知ってもらえたことが非常に嬉しく思います。

今後も研究者がみなさんに直接お会いできるような機会を増やしていきたいと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。



ときわ たつひこ  
筆者 常盤 達彦

また遊びに来てね！



国立環境研究所福島地域協働研究拠点

地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

# 町史編さん室だより

第106回

## 悲願の檜原停車場設置

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。  
☎(52)2165

昭和9年(1934)8月11日に西川

村外二ヶ村組合(後の宮下村)の組合長から組合議員宛に出された文書では「柳津、川口線鉄道敷設ノ件、(中略)今後路線確定ニ至ル迄ノ短期間ノ運動如何ガ将来永久的利害得失ノ分岐点トナル」とし、その協議をすべく参集するよう通知してあります。路線がどこを通るのか、停車場(駅)はどこにできるのか、大変重要な問題であったことがうかがえます。特に檜原停車場(現在の会津松原駅)については、先に決まった中野と名人の停車場(現在の滝谷駅、会津西方駅)の間にあり、停車場間の距離も短いことから設置までにかんがりの苦労がありました。『三島町史』(昭和43年刊)には昭和13年(1938)1月付の請願書が掲載されており、引用すると

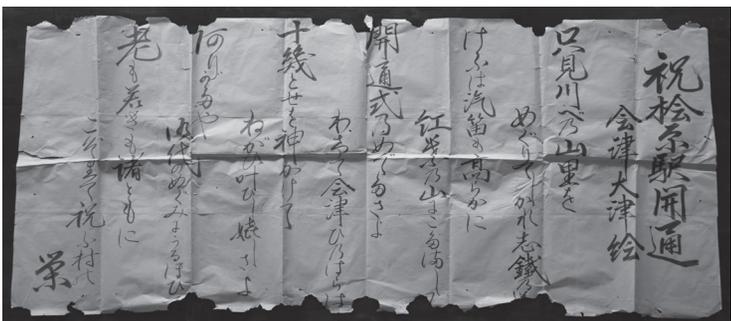
### 檜原停車場設置に関する請願

#### 請願の要旨

会津柳津川口線鉄道敷設工事も着手以來順調に進捗せられ(中略)柳津宮下間中野名人両部落には既に停車場の設置を決定済の由に候へ中間たる檜原に是非特別の御詮議を以て停車場を設置せられん事を望む。

#### 請願の理由

檜原停車場設置の件は既に請願採択済となり居る位置なり。檜原部落は原谷村にして西川村と組合村なれば学令児童は里余を距てたる宮下小学校に通学しあるも冬季降雪甚敷一夜にして道路は一メートル位の積雪に埋歿し交通杜絶すること珍しからず仍て柳津宮下間郵便局間往來の遞送馬糧に依りて漸く通路を開き其の後尾に付き辛じて通学しある現状なり、今鉄道の開通を見る時は郵便物は勿論総ての物資旅客は汽車を利用し冬季積雪半歳に亘る間柳津宮下間の道路は交通杜絶し原谷村児童の通学難に陥る事は明かに有之候、其他青年学校生徒等冬期農閑期を利用し通学しつゝあるも是又絶望の外なく教育上遺憾の点尠しとせず(中略)郵便物の関係亦重大なり原谷村は現在宮下郵便局配下にして、冬期間は積雪の為集配に遅延を來す等間々有候も鉄道開通の暁檜原に停車場の設置なき時は児童の通学難と共に郵便物の集配難は当然の事に有之候(中略)檜原は組合村なれば宮下役場管内にして毎日連絡通報欠く可からざるに冬季交通杜絶する場合生ぜん



▲片山重喜書「祝松原駅開通」

か、兵事上の関係を始め至急を要する重要事務取扱等に由々しき問題を惹起せざるやも計り難し。右御明察を賜り檜原部落に停車場を設置せられ数多弊害の除去は勿論万事敏速円滑に地方の教育上並自治行政上及交通上の完璧を期せられん事を切望して止まざる次第なり  
右謹而奉請願候也  
昭和十三年一月

といったもので、檜原に停車場ができないとどれだけ不便か、また各種問題が生ずるかを書き連ねた後、停車場の設置を願っています。当時の役場日誌で檜原停車場設置に関しての記事を確認すると、昭和13年9月18日に村長と檜原代表者2名が陳情のために夜行列車で上京、15年(1940)3月31日には鉄道省より数名の係官が現地調査に訪れており、16年にも2月と10月に村長が上京しています。

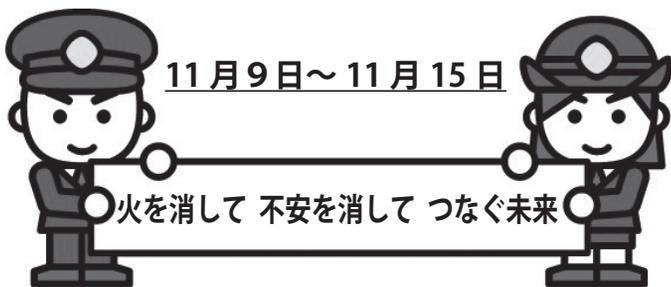
宮下停車場まで開通した同年10月28日時点では、檜原停車場は「仮停車場」という位置付けであり「毎年冬季必要ノ時期二限り旅客ノミヲ取扱ヒ」(『官報』)とされていましたが、17年6月1日に常設となりました。このことを記念し、当日檜原では祝賀式が催されています。

当時の檜原地区民の活動は故・阿部静夫氏が回想しており、駅設置までの陳情運動、開通時の青年団による演芸会、仮設ではなく常設と認められるための地区民挙げての汽車の乗降客増員運動などを詳述しています(『公民館報みしま』第144号、昭和57年刊)。

※引用文のルビは筆者によるもの  
(町史編さん室)

## 消防署からのお知らせ

### 令和6年 秋季全国火災予防運動



### 住宅防火 いのちを守る 10のポイント － 4つの習慣・6つの対策－

#### < 4つの習慣 >

- 1 寝たばこは絶対しない
- 2 ストープの周りに物を置かない
- 3 火元（ガスこんろ等）から離れない
- 4 コンセントのほこりを掃除する

#### < 6つの対策 >

- 1 安全装置が付いたストーブやこんろを使用
- 2 住宅用火災警報器を定期的に点検
- 3 寝具、衣類及びカーテンは防災品を使用
- 4 消火器を設置し、使い方を確認
- 5 避難経路と避難方法の確保
- 6 防災訓練や戸別訪問による地域ぐるみの防火対策



問 会津坂下消防署 三島出張所  
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

#### 訂正のお知らせとお詫び

広報みしま 10月号の記載内容に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、次の通り訂正いたします。

【訂正箇所】 広報みしま 10月号 (18 P)

●各種目 1位になった三島小学校児童一覧表中

(誤) 鈴木 響 望 さん

(正) 鈴木 響 希 さん

問 地域政策課 地域政策係 ☎ (48) 5533

## 会津坂下警察署からのお知らせ

### 狩猟期間中の事故・事件防止

福島県では、11月15日～翌年2月15日まで（イノシシ及びシカに限り11月15日～翌年3月15日まで）の間を狩猟期間として定めており、鳥獣保護管理法で禁止されている区域を除いた地域で、狩猟免許を取得している方に限り狩猟鳥獣の捕獲等を行うことができます。

猟銃を使用する狩猟は、一歩間違えると重大事故につながることから、銃刀法に定められたルールを守って取り扱しましょう。

#### ☆主な違法行為 ☆

- 公道上で、猟銃に実包（弾）を装填したまま携帯する行為
- 公道にいる獲物を撃ったり、公道を越えて獲物を撃つ行為
- 駐車中の車両内に猟銃を放置し、その場を離れる行為
- 猟銃を運搬・携帯する際に、ケースへの収納や覆いを被せず持ち歩く行為

### 自転車泥棒に注意！

会津坂下警察署管内では、昨年と比べて、今年は自転車を盗まれる被害が多発しています。主な発生場所は、駅の駐輪場で、無施錠の自転車が狙われる傾向にあります。

自分の自転車を守るためにも、駐輪して自転車から離れる際には、**2つの鍵を掛けるツーロック**を心がけましょう！

### カッパ君と自転車と。



問 会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

## 愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信で「健康教室」を放送中です。

11月は、「人生会議」です。ぜひご覧ください。



☎ 福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

## 町からのお知らせ

ご寄附ありがとうございました(9月分)

### ふるさと納税

相 楽 哲 様 (鏡石町)  
 牧 野 玖 美 様 (東京都)  
 楠 美 由 美 様 (千葉県)  
 楠 美 淳 二 様 (千葉県)  
 川 嶋 昭 子 様 (神奈川県)

寄附件数 24 件 計 188,000 円

### 11月分納税のご案内

【納期限 12月2日(月)】

- ▼ 国民健康保険税 (普通徴収) (第3期)
  - ▼ 介護保険料 (普通徴収) (第3期)
  - ▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収) (第3期)
- 忘れずに納付してください。

☎ 町民課 町民係 ☎ (48) 5555

### お悔み申し上げます

栗城 由記子 様 (70才・宮下)  
 長郷 タツエ 様 (96才・間方)

### 町の人口と世帯 (10月1日現在)

人口	1,339	増減数	-3	出生	0
男	679		1	死亡	4
女	660		-4	転入	3
世帯	678		1	転出	2

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

## 社会福祉協議会より

### 間方いきいきクラブ

11月20日(水)  
 午前10時から  
 間方集会所

### 高清水・小山 いきいきサロン

11月22日(金)  
 午前10時から  
 高清水集会所

### 西方ほがらかサロン

11月25日(月)  
 午前10時から  
 森の校舎カタクリ

### サロンないり

11月25日(月)  
 午前10時から  
 名入集会所

### 大石田友遊サロン

12月2日(月)  
 午前10時から  
 大石田集会所

### 桧原はつらつクラブ

12月3日(火)  
 午前10時から  
 桧原集会所

### 川井友愛サロン

12月6日(金)  
 午前10時から  
 川井集会所



### 桧原はつらつクラブ

11月5日(火)  
 午前10時から  
 桧原集会所

### 大登サロン

11月5日(火)  
 午後1時30分  
 大登生活改善センター

### 川井友愛サロン

11月8日(金)  
 午前10時から  
 川井集会所

### 大石田友遊サロン

11月11日(月)  
 午前10時から  
 大石田集会所

### 浅岐あったかサロン

11月12日(火)  
 午前10時から  
 浅岐集会所

### サロンなごみ

11月13日(水)  
 午前10時から  
 西方ふるさとセンター

### ひまわりサロン

11月15日(金)  
 午前10時から  
 町民センター

### 滝谷和楽塾

11月19日(火)  
 午前10時から  
 滝谷集会所

### 町社会福祉協議会へのご寄附 (ご遺志によるもの)

栗城 春美 様 (宮下)  
 長郷 和雄 様 (間方)

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

# 第20回会津の編み組工芸品展

## 飯塚ハツエさんに会津地方振興局長賞

第20回会津の編み組工芸品展は10月12日・13日、交流センター山びこで開催されました。会津地方の61名から寄せられた356点を審査し、「ポシェット」(クルミ)を出展した飯塚ハツエさん(只見町)が最高賞の福島県会津地方振興局長賞を受賞しました。

開場と同時に、人気の山ブドウバックやマタタビ細工などを求める多くの来場者でにぎわいました。また、生活工芸館で、「ものづくり再光展」も同時開催され、全国の工人の方々の作品が展示されました。

3連休だったこともあり、多くの方が会場に足を運び、延べ1800名の方が来場されました。



会津地方振興局長賞

▲飯塚ハツエさんの作品「ポシェット」



▲多くの来場者でにぎわった会場



▲会津地方振興局長賞を受賞した飯塚ハツエさん

### 第20回会津の編み組工芸品展受賞者

賞	作品名	材質	作者名	市町村名
福島県会津地方振興局長賞	ポシェット	クルミ	明和民芸品保存会 飯塚ハツエ	只見町
会津若松市長賞	山ブドウ大判マット	山ブドウ	斎藤クニイ	会津若松市
北塩原村長賞	手提げ籠	山ブドウ	赤城弘美	北塩原村
会津坂下町長賞	花結びカゴ	山ブドウ	五十嵐善吾	会津坂下町
湯川村長賞	六ツ目差し花籠	真竹	他 人見守彦	磐梯町
柳津町長賞	肩かけバッグ	ヒロロ	他 阿部節子	柳津町
会津美里町長賞	ひろろ手さげ	ヒロロ	佐々木あや子	会津美里町
三島町長賞	山ブドウ皮バッグ	山ブドウ	五十嵐登美雄	三島町
金山町長賞	またたびかごバッグ	マタタビ	市川里美	金山町
昭和村長賞	手提バッグ	ヒロロ	他 大山達朗	会津若松市
只見町長賞	手さげかご	山ブドウ	他 小柴ひとみ	会津若松市
三島町議会議長賞	ヒロロバッグ	ヒロロ	他 秋山せつ子	会津若松市
福島民報社賞	大ザル	根曲がり竹	武藤叡太郎	喜多方市
福島民友新聞社賞	手提カバン	山ブドウ	福田耕士	三島町
奥会津三島編組品振興協議会長賞	アケビのようなかご	ヒロロ	他 諏訪道子	会津若松市
	ヒロロ・モワダ手さげ大	ヒロロ	他 板橋サガミ	三島町
	ショルダーバッグ	ヒロロ	他 角田ツヤ子	三島町